

*全国学テが実施が延期されました。県または市独自で学テも止めるチャンスです。要請文案をつくりましたので、ご活用ください。

教育委員会

子どもたちの学習権を保障し、 県（市）の学力テストは中止してください（案）

2020年3月 日

新日本婦人の会 ○○支部
○○○○○

新型コロナウイルス感染症対策として、安倍首相が要請したに「一斉休校」により、約3週間分の授業が突然なくなりました。そのもとで、学校から家庭学習として課題等が出されていますが、家庭により状況はさまざまで、「とてもこなじきれない」「まだ習っていないところも出されていて戸惑っている」など、困惑と不安の声が各地からあがっています。

さらに、不安は新学期開始の4月以降も続きます。各学校でも実施されなかった授業をとりもどすための追加授業等が検討されていますが、改定される学習指導要領のもと授業時間が増えている中、急速な授業増は、子どもにも教員にも負担となるものです。

文科省は4月16日に実施予定だった「全国学力・学習状況調査（全国いっせい学力テスト）」の実施とりやめを発表しました。私たちは、これまでも「学力テスト」により、事前の「過去問題」テストや宿題の増加で、子どもも保護者も追い詰められていただけに、今回の「一斉休校」の下での実施は、「中止に」と、文科省にも要請してきました。

「一斉休校」という、これまでにない事態が教育現場に生じている中、求められるのは、憲法26条と子どもの権利条約にもとづく、子どもたちの教育を受ける権利、学習権の保障、そして心身ケアです。自治体間の競争を煽るような学力テストに授業時間等を割くべきではありません。以下、要請いたします。

1. 子どもたちの学習権を保障するため、県（市）独自の学力テストは中止してください。
1. 国にも、全国いっせい学力テストは、延期ではなく中止するよう求めてください。